

09、バリアフリー 大阪で開く

健康・介護 介助で積極訴求

【関西】四月十六日から十八日の三日間、「バリアフリー2009」がインテックス大阪で開催された。(主催)社会福祉法人大阪府福祉協議会・テレビ大阪/共催(財団法人大阪府地域福祉推進財団)

今回で第十五回を迎える高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展の出展者数は二百六十九社・団体で、会場

は、インテックス大阪の三・四・五号館と例年より会場が一つ減っており、世相を反映した形となった。

本紙関連においては、介護シューズ関連の各メーカーが主になるが、最大の一つアサヒコーポレーションは不参加。有力企業のアキレスの姿も消しており、今回の出展者の中でも「この業況が続くのであれば、今後の

宇都宮製作



出展の再検討も」との声もあった。

しかしながら、多くの出展者は、「こんな時期だからこそ積極的なPRを」と考えており、おぎなりの出展ではなく、ビジネス拡大への重要な機会として熱意はいつも以上に盛況であった。大阪の有力ゴム商社のコーキマテリアル(大

コーキマテリアルの「ラブラックス」展示



阪市西区)は、(株)サンクフルハート(滋賀県伊香保郡)のブースに場所を借りる形で、最近注力している健康グッズ「ラブラックス」を訴求した。これは、ゴム製のマッサージ器具で、その独特の形状と低波長遠赤外線の効果で、プロも認める体調の改善が認められるという。

恒例出展の宇都宮製作

ムーンスター



(株)大阪府東大阪市)は、介護・福祉用具の販売は別法人「暮らし生き活き社」として展開していたが、この度、事業部として吸収、四月一日から本格活動を開始した。市場訴求のポイントとしては、サービス面の充実を挙げており、さらなるシェアアップを目指す。

錦城護謨(大阪府八尾市)は、視覚障がい者

歩行誘導ソフトマット「歩導くん」、大手の(株)ダノロップホームプロダクツ(大阪市中央区)は、やはり他社とはひと味違う対応で来場者の関心を得る動きをして、可搬型スロープ「ダンスロープライト」を展示した。

シューズ関連では、(株)アステイコ(岡山市江並)、徳武産業(香川県さぬき市)、(株)パンジー(大阪市浪速区)、(株)ムーンスター(営業所)大阪府豊中市)、ラッキーベ(株)神戸市長田区)がそれぞれ特色ある介護シューズ等を紹介。一般使用者にとっては、普段は、カタログ等でしか見られない商品が、手に取って、実際に履ける絶好の比較できる場となった。